

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 上町

【計画】

作成担当者： 福池 保江

開催日時	平成30年11月10日 10:30 ~ 11:30	開催場所	中央公民館
参加者	民生委員：14人、居宅支援事業所：2人、通所リハビリテーション事業所：1人、通所介護事業所：1人、訪問リハビリテーション事業所：1人、訪問介護事業所：2人、グループホーム：1人、サービス付高齢者向け住宅：1人、有料老人ホーム：2人、地域包括支援センター職員：5人、地域包括支援センター職員		
	総数 30人		
内容	テーマ	名山地区のフォーマルサービスについて	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域作り	
	概要	名山地区の地域住民の困り事について（グループ協議）	

【結果】

開催日時	平成30年11月10日 10:30 ~ 11:30	開催場所	中央公民館
参加者	民生委員：14人、居宅支援事業所：2人、通所リハビリテーション事業所：1人、通所介護事業所：1人、訪問リハビリテーション事業所：1人、訪問介護事業所：2人、グループホーム：1人、サービス付高齢者向け住宅：1人、有料老人ホーム：2人、地域包括支援センター職員：5人		
	総数 30人		
内容	5グループに分かれ、名山地区の困り事についてグループ協議を行った。 【意見内容】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション住民が高齢化してきており、近くに家族がいる方はいいが、家族が県外在住であったり、身寄りのない方の緊急時の対応に困っている。 ・借金があり、生活費の相談を受ける事がある。世帯によっては、男性民生委員でも1人では訪問しにくい場合もある。 ・1人暮らしの認知症の方が多い。声かけ、会話が必要。認知症になったからと家族は隠さないで欲しい。 ・男性の集まりの行き場が少ない。よかよか体操の男性の参加が少ない。体操以外に、何か集まる目的が必要。退職後の男性は、特に閉じこもりが多い。 ・集まりの場があっても、送迎がないと難しい。 ・地域の集まりに、理学療法士がきて、体操の指導をしてほしい。→民生委員より、通所リハビリの理学療法士へ体操指導の講師依頼があり、派遣して頂くことが同意できた。 ・町内会で女子会を開いている。コスモス見学に行ったり、外に出る機会を民生委員が作っている。 ・社会福祉協議会では、年1回バスで日帰り旅行を企画しており、楽しみにされている。 ・高齢者の家族が、転ばないようにと、本人を外出させないようにしている。正しい知識が必要 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の集会や、イベント事等の社会資源について、情報共有する事が出来た。また、今後の地域の課題を考えるいい機会となった。 ・地域での困り事をグループで共有する事で、名山地区の民生委員と、各サービス事業者の交流のいい機会となり、つながりの場となった。 		
今後の課題など	（地域での集まりについて） <ul style="list-style-type: none"> ・体操だけでは、男性の集まりが少ない。男性が集まりやすいテーマや目的を検討する必要がある。 ・送迎がないと集まる場があっても参加が難しい。 		